

ゆ〜とぴー



特集

福祉分野におけるBCP策定の取り組み ～災害・感染症～

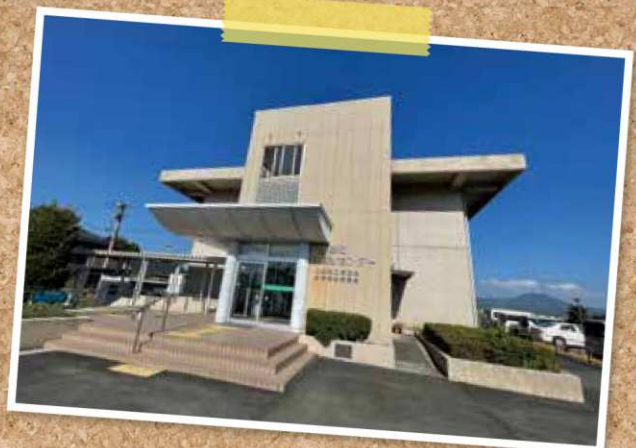
○社会福祉法人 綾友会 & 嘉島町社会福祉協議会

- ⑥ — だから私は、ここで働く。— 現場スタッフが伝えたい福祉の魅力—
○菊池さくら保育園
- ⑧ — ボランティアレポート — 地域福祉活動団体の紹介—
○NPO法人ななうらステーション
- ⑩ — 県社協ホームページリニューアルについて
- ⑫ — 県社協の事業案内



BCP (事業継続計画)

起こるかもしれない
「もしも」のために、
チームで備える。



特集

福祉分野におけるBCP策定の取り組み

災害・感染症

2024年までに介護分野や障がい福祉分野におけるBCP策定が義務化されました。頻発する自然災害、世界的に流行した新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）など、いつでも何が起こるか分からない世の中。福祉分野においては、特に高齢者などを守るために苦勞している課題です。

では、一体、BCP（事業継続計画／Business Continuity Plan）とはどんなものなのか？どのように取り組めばいいのか？すでにBCPを策定している事業者の例を紹介します。



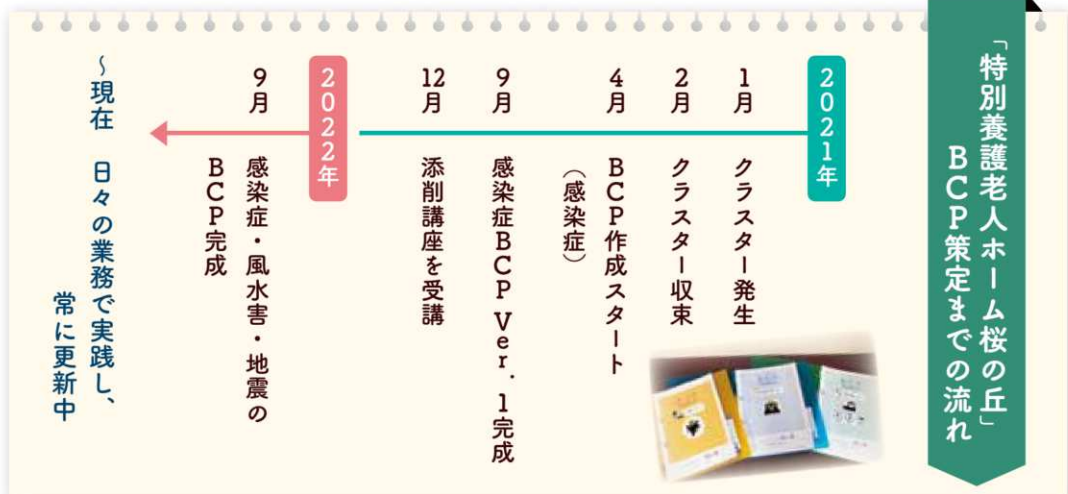
最悪の事態を想定するのは難しい。
クラスター発生で、想定をはるかに越える事態に…
BCP策定はチームで取り組むことが大切。

社会福祉法人 綾友会
特別養護老人ホーム 桜の丘
施設長 社会福祉士
宮崎 眞樹子さん

クラスター発生で

DMATから学んだリアルなBCP

2021年1月、感染症が流行する中、「桜の丘」でクラスターが発生。熊本地震を経験し、BCPの必要性を感じていた施設長の宮崎さんは、研修会に参加したり、ひな形をもとに自分なりにBCPを作成していましたが、「実効性があるように思えませんでした」と当時を振り返ります。そこで、実際にBCPを作成する研修への受講も予定していましたが、感染症の流行によって中止になります。「残念に思っていた矢先、自施設でクラスターが発生してしまいました。職員間での連絡用に導入した情報ツールの引継ぎをする間もなく自宅待機になるスタッフが続出したり、不安の中にいるスタッフに早く正しい情報を伝えたくて始めた一斉メールが、アドレス変更した人に届いていなかったりと、思わぬことが次々と起きます」シフトに入ることができずスタッフが激減する中、目の前の入居者のケアを続け、命と生活を、そして、スタッフの健康と生活も守らないといけないという、想定をはるかに越えた事態に愕然としたそうです。





BCP策定の必要性

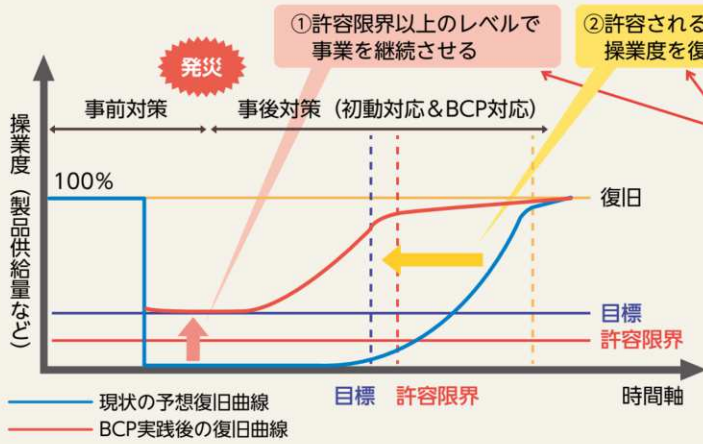
BCPⅡ事業継続計画

災害発生後、事業を継続していくために、発災時の対応をあらかじめ計画しておくこと

4つの基本方針

- ・サービスの継続
- ・利用者の安全確保
- ・職員の安全確保
- ・地域への貢献

①②をスムーズに実施するための備え
事前に整理・検証ⅡBCP



発生翌日からDMAT（※）をはじめとした専門家が訪れ、対応のノウハウをレクチャー。1日2回、対策会議が開かれ、さまざまな課題を話し合います。「今まさにBCPを実践しているんだと実感しました。対策会議の議題は、ケアはもちろんですがマネジメントが多く、もっと準備が出来ていれば、限られた人員・時間を、早く、必要なところに集中できたのに…」と当時の辛い心境を語ります。

（※DMAT＝大規模災害や多傷病者が発生した現場などに急性期（概ね48時間以内）に派遣される「災害派遣医療チーム」（Disaster Medical Assistance Team））

「使える」BCPを作りたい。
感染症対策会議のメンバーで策定

クラスター収束後、経験した職員の対応力の向上に目を見張ると同時に、当時を知らない職員との温度差を感じた宮崎さん。「せっかくなの経験がこのままでは『次』につながらない。作るならば『使える』BCPを考え、まずはざっくりと作り上げ、使いながら更新するという考え方で策定を進めていきました」。感染症に関するBCP策定メンバーは、施設長・副施設長・事務・介護・相談・看護・栄養の課長。さらに、風水害と地震では、建物と設備関係が重要になるため、環境・営繕担当の総務主任が加わったと言います。

BCPを作成することで得られる利点について、宮崎さんは次の6点を挙げます。①平時に準備しておくことでいざという時、必要なところに力を集

社会福祉法人 綾友会
特別養護老人ホーム 桜の丘

お問い合わせ Tel.096-234-1191
熊本県上益城郡甲佐町西寒野 1161
ホームページ <https://sakuranooka.or.jp>

中させ、早期復旧につなげられる。

②共通の認識の下で対策・対応ができる。③上司が不在の時も指示を待たずに初動対応が出来る。④仕事の優先順位や手順を可視化することで職員の安心感につながる。⑤活用・対応を繰り返すことで経験値・対応力が上がる。

⑥計画的な研修が出来る。

「BCM（BCPの運用を目的とした研修・訓練／Business Continuity Management）はこれから。使えるBCPを目指している私たちは、日々の業務で活用しながら、必要に応じて更新していく予定。誰が見ても分かりやすく写真やフローチャートをも活用したBCPを作ること、緊急時に対応できる人を一人でも増やしていきたいです」。感染を持ち込まない、広げない、強い組織になるため、BCPは「桜の丘」にとつての安心材料になるようです。

自動車共済MAP 福祉にかかわる皆様だけのお得な割引制度

(任意保険)

- 共済制度のメリット**
- 非営利の共済制度
 - 節約型のお得な掛金
 - 早くて親切な事故処理
 - 他保険会社等からの切替でも安心
 - ノンフリート等級(無事故割引等)、フリート優良割引などはそのまま引き継げます。
- ①福祉車両割引 3%**
●消費税非課税措置の対象となる福祉車両の契約の場合。
- ②障害者割引 10%**
●ご本人(記名被共済者)、配偶者、同居のご親族のどなたかが障害者の認定を受けているご家庭の契約の場合。
- ③福祉施設割引 10%**
●社会福祉施設が所有・使用する自動車の契約の場合。
- ④福祉施設職員割引 5%**
●社会福祉施設に勤務する役員・従業員の契約の場合。



安心、信頼、ゆたかな未来へ。 **本部** 熊本県火災共済協同組合

お問合せ、お申込みは… **(社福) 熊本県社会福祉協議会**
熊本市中央区安政町3番13号(熊本県商工会館2F) TEL:096-325-3411
TEL:096-324-5454

平時の体制が

緊急時に活かした熊本地震の経験。

BCPにまとめることで得られる安心感

社会福祉法人 嘉島町社会福祉協議会

事務局次長

山上 テルヨさん



一人ひとりの責任感と 平時のつながりで スムーズな初動対応を実現

熊本地震の経験を活かし、地震対策のBCPを作成したと言う「嘉島町社会福祉協議会（以下、嘉島町社協）」の山上さん。負傷した職員がいなかったことも幸いし、災害対応業務が行えたそうです。

平時から、地域の一人暮らしの高齢者の方などの見守りを行う高齢者相談員のみなさんとの連携をしていた嘉島町社協。前震・本震ともに発災直後は、LINEと電話を活用し、職員の安否確認を実施。すでに地域の一人暮らしの高齢者の安否確認に奔走していた高齢者相談員の人たちとの連携により、支援を必要とする方については、スムーズに状況把握が行われたと言えます。「ライフラインは、発電機があったので最低限の電源の確保ができたこと、水道・ガスは破損して使用できない状況でしたが、近くの嘉島町役場や町民会館を利用することで解決。約1日で電気が復旧したので、その後、災害対応業務ができました」と山上さん。

職員が7名という少人数だったことは情報伝達のスムーズさにはメリットが大きい一方、通常業務と災害対応業務を行う上での職員不足が露呈。また、災害時の優先業務の整理ができていなかったことや、本来の業務を継続するための体制が不明確だったこと、

「嘉島町社会福祉協議会」のBCP

通常業務のうち優先すべき業務（地域福祉推進事業）の例

区分	業務内容	緊急①	緊急②	生活①	生活②	生活③	収束時期
心配ごと相談に関すること	本会での中止・延期の協議	→					
	弁護士、相談員、会場への連絡	→					
	広報、ホームページでの周知	→					
日赤、共同募金に関すること	本会での中止・延期の協議	→					
	日赤、共同募金会との連絡、調整	→					
	関係団体への連絡、調整	→					
香典返し、一般寄付に関すること	香典返し、一般寄付の受付	→					
	線香セット配付中止・延期の協議	→					
	高齢者相談員への連絡	→					
高齢者相談・地域福祉委員会及び独居老人への物品配付に関すること	広報、ホームページでの周知	→					
	高齢者相談、地域福祉委員の安否確認	→					
	物品配付中止・延期の協議	→					
報告書、調査書の依頼	業者への連絡、調整	→					
	報告書、調査書の依頼	→					
	広報、ホームページでの周知	→					

※時間については図1参照

〈BCPの時の区分と目安〉

※図1

緊急① =発災後 3日以内	緊急② =発災後 1週間以内	生活① =発災後 2週間以内	生活② =発災後 1ヶ月以内	生活③ =発災後 3ヶ月以内	収束時期
					※収束に関する留意点を記載
始期と終期を矢印で表示					

自宅が被災しているにも関わらず勤務せざるを得ない状態や長時間の時間外労働・休日出勤が生じたことなど様々な課題を振り返ります。

「上益城郡内ブロックの社協で行われている、災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加し、対応の流れは把握していたのですが『自分ごと』になっていませんでした。災害を経験し、さまざまな備えの必要性に気づかされました」。災害時に起こる人・物・資金などの利用できる資源の制限、業務レベルの低下、そして巻き起こる混乱。これらを最低限に抑えるためにBCPが必要だと話します。

嘉島町社協では、災害ボランティアセンターの運営、生活福祉資金緊急小口資金特例貸付の実施、その他の被災者（特に要援護者）への支援

業務と並行しながら、社協が行うべき、福祉サービスを継続しなければいけません。何をストップして、何を継続するべきか、緊急時に即座に対応できる人は、皆無に近いのです。

BCPの作成・周知は
職員の意識アップも狙い

熊本地震から5年。山上さんがBCP策定に踏み切った理由の一つに、記憶の風化と未経験のスタッフの増加があります。「現在10名いる職員のうち4名は、社協での災害対応業務を経験していません。職員と一緒にBCPを作成することで共通の認識を持つこと、一人ひとりの意識を高めることを目的に、作成後、職員への説明会を実施しました」。さらに、昨年10月には第1回目の模擬訓練を行い、組織体制や安否報告手順、緊急連絡先についての確認を行ったと言います。「絵に描いた餅ではなく、いざという時に活用できるかが大事。本会のように少ない職員の中で、誰か一人でも欠けた場合、すぐに補えるような体制づくりを日頃からしておくことが大切だと思っています。BCP策定は作って終わり、100%完成!ということではありません。最新情報を加えながらのアップデートは欠かせないと考えています」。

現在、同じ規模の社協の事例なども参考にしながら、感染症のBCP策定を検討している山上さん。テロやシステム障害に対応したBCP策定も、社会情勢を考えると将来、必要になってくるかもしれないとしながら、まずは、優先順位を決めて策

定・アップデートを重ねていくそうです。「地域の方々の見守り体制の継続という一番大事なことが決まっているので、継続するためにどうしていくか?日頃から、BCPに沿って業務を遂行することが非常時への備えになります。私たち社協にとって100点はないので、常に改善です」と山上さん。そのためには、職員間の平時からの円滑なコミュニケーションが必要不可欠だと教えてくれました。



社会福祉法人
嘉島町社会福祉協議会

お問い合わせ
Tel.096-237-2981
熊本県上益城郡嘉島町
上島551
ホームページ
<http://kashima-shakyo.or.jp>



BCP策定のポイント

難しく考えず、
まずは作ってみて
ブラッシュアップ
する

最悪の事態を考えると
頭がフリーズ!「そう
ならないように気をつ
けよう」は逃げ!そこ
から先を考える

(地震・風水害・
感染症など)経験
のあるカテゴリ
から作成し、応用
する

誰が見ても分かる
ように写真や
フローチャートを
活用する

「自分ごと」
として考える

一人で作成せず、
チームで取り組む

同じ規模の事業者
の事例を参照する

家庭用常備薬等の斡旋をご利用ください。

健康維持、セルフメディケーションをサポートします。

お客様のニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。

備えて安心
常備薬から
防災用品まで



非常食・トイレ・ライトなど

防災用品

風邪薬、鎮痛薬、胃腸薬など

家庭用常備薬

マスク、ばんそうこう、体温計など
衛生材料、健康機器



みんながみんなの
幸せを考える会社です。



株式会社 諒和
Ryowa Co., Ltd

〒535-0002 大阪市旭区大宮4丁目18番18号



TEL (06) 6952-7015 (代表)

FAX (06) 6952-7137

URL <https://www.ryowa.website>

ご予算・ご要望に応じた記念品のご相談承ります。



事業所向け医薬品、防疫薬品、医薬部外品、食品(健康食品・非常食) 健康関連用品、防災用品、日用雑貨、名入れ記念品等販売

今回お話を伺ったのは

菊池さくら保育園



菊池市豊間301-9 ☎0968-24-3880

現在、0歳児～5歳児91名を30名のスタッフで保育を行う。2階建ての園舎の他に、裏山には“ワクワクの森”があり、子どもたちが伸び伸びと遊ぶことのできる環境が整っている。

菊池さくら保育園

副園長 本田 勝美 さん(左) 保育士 岡島 麻美 さん(右)

だから私は、 ここで働く。

— 現場スタッフが伝えたい福祉の魅力 —

福祉の現場の実情や、仕事に対するやりがいや向き合い方など、さまざまな福祉現場で働く皆さんの“生の声”をお届けします。

保育士は、子どもたちの「やりたい」を叶えるサポーター

「菊池さくら保育園」では、これまで40年間、数多くの子どもたちがここで学び、遊び、卒園して行きました。卒園生たちが大人になり、その子どもたちが園に通うということも多く、園の保育に向き合う姿勢が多くの子園生たちに伝わっていることの表れでしょう。創立時より園に勤続する副園長の本田さんと、5年目の岡島さんに、仕事のやりがいや子どもたちへの想いについて伺いました。

— 園の特徴を教えてください。

本田 当園は、菊池神社と城山公園という桜の名所に近く、園の名前通り桜に包まれた場所にあります。そして何より裏山にある「ワクワクの森」が自慢。保護者の皆さんと一緒に、遊歩道やアスレチックを作り、子どもたちの安全のためにメンテナンスも欠かしません。春にはお花見、初夏はタケノコ掘り、秋にはどんぐりや栗拾いを楽しみ、鳥の鳴き声もさまざま。春夏秋冬、四季を感じながら、子どもたちは伸び伸びと過ごすことができます。自然環境が豊かな立地で、まさに園外保育に恵まれた園です。

岡島 山にテントを張って過ごすこともあります。最初は、雑草が肌について嫌がっていた子どもたちも、次第にへっちゃらになって。子どもたちから、「ワクワクの森に行きたい」と積極的に言ってくれますし、保護者の皆さんのバックアップが大変ありがたいです。



園児自身が、「どうやって遊ぼう」と考えることで、感性が磨かれる



「ワクワクの森」にあるアスレチック。保護者と一緒に草刈りなどメンテナンスを行う

本田 また、本格的に導入したのは3年ほど前ですが、現在、3歳未満時の子ども一人ひとりを同じ保育士1人で担当する「担当制保育」に力を入れていま

す。同じ担当保育士が身の回りのお世話をすることで愛着関係が形成され、家族と過ごす際と同じように、保育園でも落ち着いて生活ができるようにすることが狙いです。

— 保育士になった経緯とお仕事の内容を教えてください。

岡島 私自身、当園の卒園生で、本田先生にもお世話になったんです。保育園生活が楽しかったことと、弟の面倒を見るのが好きだったので保育士になりました。現在、勤続5年目で、以前は3歳以上児を担当していましたが、今年から1歳児の担当制保育をしています。担当制保育は経験が少ないので試行錯誤しながらの毎日です。食事の援助や排泄面、着脱など、生活習慣の



子どもたちとの時間を自らも楽しんでいるという岡島さん

(※園児の保護者から掲載について菊池さくら保育園が了解を得ています。)



「流しそうめんをやろう!」という子どもたちの夢を叶えるため、保護者も巻き込んで準備から行う

お世話と、一緒に遊ぶことを行っています。大変ですが、小さな変化や成長を感じることができて、日々癒されています。

園児の笑顔と保護者の理解・協力が保育の現場で働くスタッフのやりがい

園での保育において心がけていることを教えてください。

本田 「子どもたちのやりたいことを叶えるサポーターになろう」という想いで保育に取り組んでいます。子どもたちが発信してくれる「やりたい」をできるだけ拾って、やってみることで、子どもたちの感性が磨かれ、体力

がついてくると考えています。もちろん、私たち自身もチャレンジすることを大切にしている、全職員で勉強会を行ったり、導入して間もない「担当保育」についても水保の保育園に勉強に行ったりしています。

仕事のやりがいを教えてください。

岡島 仕事のやりがいは、子どもたちの笑顔です。子どもたち、保護者みなさん、働く仲間との信頼関係があつてこそ、子どもたちの笑顔を見ることが出来ます。また、当園は風通しの良い職場だと思います。悩むこともありませんが、経験年数の長い先輩方のおかげで相談しやすい雰囲気なので、アドバイスをいただきます。本当に恵まれた職場だと思います。

本田 卒園後、10年20年経つと、卒園生が親になり、再び子どもを連れて園の門をくぐってくる。親子2代に渡って同じ園に通うということがあるんです。園の想いを理解してくれているからこそ、大事な我が子を預けてくれると考えると、これまでやってきたことが間違いではなかったんだって自信につながります。

これから福祉(保育)の仕事を
目指す方へ、メッセージを。

岡島 1〜2年目は大変なことがありましたが、5年間があつたという間でした。それに、子どもたちの成長を保護者の皆さんに伝えて共有することが、本当に嬉しいんです。一緒に「逆上がりができるようになった!」と成長の喜びを共有できる。やりがいのある仕事です。

本田 福祉の仕事は本当に大変で、体力勝負です。だからこそ、子どもたちの笑顔のために、私たちは給食のスタッフなど、関わる人たちみんなでスクラムを組んで取り組んでいます。例えば、栄養士や調理師の皆さんと、「子どもたちの夢を叶えてあげよう」とクリスマスなどの行事の際には、デザートを手作りしたり。そして、子どもたちの反応を共有して、仲間と喜びを分かち合っています。また、当園は、再就職を考えている方々の受け入れも積極的に行っています。「子どもが小さいから」「年齢が高くなったから体力が」と心配される方も、一度お話をし、最初は短い時間でチャレンジしてもらっています。とにかく、この仕事は職場のサポートも大事なので、無理なく助走からチャレンジして欲しいですね。

クルマがバリアにならないように
快適なカーライフへの“第一歩”をお手伝いします

福祉車両の展示・貸出し

専門スタッフへの相談



福祉車両 専門店
ウェルタウンくまもと

〒861-8035 熊本県熊本市東区御領8丁目10-80
TEL:096-234-6263 FAX:096-234-6341
[定休日] 毎週月曜日・火曜日 ウェルタウンくまもと 検索



試乗車
検索は
コチラ

ボランティアレポート

地域福祉
活動団体の
紹介

市町村社協やボランティア団体、住民との協働による生活支援サービスの活動事例やボランティアへの思いなどをレポートします。

肥薩おれんじ鉄道「佐敷駅」から全国へ
文化や思い出を共有する橋渡しを。
それが、被災地支援の新しいカタチ。

NPO法人 ななうらステーション

お問い合わせ

NPO法人ななうらステーション (ななうらサポートセンター)

☎0966-61-3100

熊本県葦北郡芦北町芦北2739

Facebook <https://www.facebook.com/Nponanaura/>



▲肥薩おれんじ鉄道「佐敷駅」の運営と共にボランティア活動を行う「ななうらステーション」代表の藤井 ゆみさん

「駅を、交通だけでなく、ヒトやモノをつなげる、橋渡しの存在にしたいかったです」と藤井さん。東日本大震災では福島の支援を、熊本地震は益城町への支援を行い、芦北地域に止まらず、全国に広がり、その活動の幅は広がっています。

肥薩おれんじ鉄道が窓口業務の委託業者を募ったのが15年前。藤井さんをはじめ、地元の有志10名が集い、駅業務と併せて地域活性を目的としたNPO法人を立ち上げます。駅を拠点に、地元根ざしたイベントや加工品、ツアーなどを企画・実施。さらに、被災地支援を行っています。

ヒトとモノをつなげる 橋渡しの存在に

1時間に1本、上下線が停車する肥薩おれんじ鉄道「佐敷駅」は、歴史を重ねた駅舎の佇まいにファンも多い駅のひとつです。利用者の減少はありつつも、地域の人々の大事な足として活躍する鉄道、そして駅は、今、単に「交通手段」としてだけではない存在になっています。

今回は、この駅を拠点に、地域の橋渡し役として活動する「NPO法人ななうらステーション」の代表・藤井ゆみさんにお話を伺いました。

芦北地域の被災で感じた
学ぶことの大切さ

そんな中で起きた「令和2年7月豪雨災害」。「奇跡的に佐敷駅が無事だったんです。水が引いてからは、はじめは八代など近隣の地域から、そして全国からと、支援物資が次々と届き、拠点として支援活動を行なっていました」。鉄道の運行はストップしていませんが、駅舎が無事だったことから、駅は物資庫として活躍することになったのです。八代から届く弁当の販売や物資の受け渡しといったハブ的な活動は約半月続き、その間、藤井さんは休むことなく動き続けたと言います。

「東日本大震災・平成28年熊本地震への支援を通し学んだことが、何となくでしたが活きました。時期によって被災者のニーズが変わるなど、フェーズが変わることも知っていたし、町内のほとんどが被災したことから私自身、佐敷駅から動けないことが逆に良くて、腰を据えて集中できたことで、地区ごとの情報を得ることもでき、連携が生まれました」。

写真を通して防災につなげ 思い出を語り合うことで元気を取り戻す



▲令和4年4月16日に実施した「3.11キラクのキラク、そしてイマ。2022」巡回展（益城）。ワークショップ「はじまりのごはん」で、それぞれの被災後、最初に食べた食事の話共有

宮城との連携で生まれた 思い出の共有ワークショップ

藤井さんたちの活動のひとつに、宮城県の団体「3.11オモイデアーカイブ」との連携で行う「はじまりのごはん」というワークショップがあります。これは、写真や映像を通して、被災直後、最初に食べた食事の話をするというもの。被災の状況はさまざまながら、誰しもに共通する「食」をテーマにすることで、思い出の共有がしやすいということ。「生きてきた知恵や経験を後世に残すことは大事なこと。それを写真や映像を通して伝える・共有するという活動です。被災地の定点写真によって、どう復興していったかだけではなく、そこにどんな生活があったかに注目しています。」

さらに、藤井さんの狙いは、記憶の回想を行うことによって、高齢者の認知症予防につなげることです。「災害に留まらず、思い出の写真を持ち寄り、楽しく思い出話を語り合うことで、脳が活性化するので。高齢者が多い地域だからこそ、家に引きこもっていて

は「1日誰とも話さなかった」ということにもなりかねません。この活動が、出かけるキッカケになり、認知症予防にもなり、地域も元気になる！」これが藤井さんの狙いです。

「私たちのポリシーに『やりはじめたら歩み続ける』というのがあります。このような活動は、継続することが大事なので、自分の足だけで歩み続けることを目標に、今は、たくさんの方のサポートを受けながら活動しています」と藤井さん。活動の様子はフェイスブックなどのSNSでも発信しています。駅を拠点にした新しい支援のカタチがここにあるのです。



▲「佐敷駅」の駅舎内では、人吉出身の漫画家・小坂泰之さんの釣りマンガ「放課後ていぼう日誌」のパネル展を開催中（令和5年春までの予定）

お湯につかるだけで全身キレイに

こすらない、疲れない入浴

お風呂にホースを入れて電源ON
それだけで洗えるお湯に変わる



ホームページをリニューアルしました。

～より見やすく、使いやすくなりました～

令和4年10月1日から、本会のホームページのデザインや機能を一新しました。

コンセプトは「シンプルで分かりやすく」「スマートフォンからも見やすいこと（スマホファースト）」などを基本に、より閲覧者の視点に立って、情報を“伝える”から、情報が“伝わる”ホームページを目指しました。

YouTubeやFacebook、Instagramなどの各種SNSとも連携し、より使いやすくなっています。

まだ、スタートしたばかりですが、コンテンツのさらなる充実と情報発信に努め、皆様にとって利便性の高いホームページとなるよう、より取り組んでまいります。



スマートフォンでも見やすいレイアウトです。

※URLの変更はありません。

(www.fukushi-kumamoto.or.jp/)



県社協への寄附御礼

受付〈令和4年4月1日～令和4年10月31日〉※順不同

- 東洋羽毛九州販売 株式会社 様
- 株式会社 熊本計算センター 様
- 一般社団法人 熊本県庁友会 様
- CSネットワーク熊本 様

寄附のお願い

県社協では、地域福祉の推進に必要な財源として、本会の活動・事業に賛同し応援して下さる全国の皆様や企業・団体からの寄附金を受け付けております。ご寄付いただきました浄財は、本会が実施する事業や県内の福祉団体、ボランティア団体等への支援に活用させていただきます。

この機会に、社会貢献としてご一考くだされば幸いです。

職員様の業務効率向上、業務負担軽減に貢献！

人員・プログラムの共有ができ、各施設のレクリエーション品質の均一化が図れます！

生活総合機能改善機器
DK ELDER SYSTEM
FREEDAM LIFE

楽しみながら機能訓練・
介護予防ができる
「DKエルダーシステム」



ぜひこの機会に
お試しください！

無料お試しキャンペーン実施中！

お問合せ先 / 株式会社第一興商 熊本支店

熊本県熊本市南区田迎2丁目15-27

お気軽にお電話下さい TEL:096-377-5770

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設]特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償		
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険
ホームページ)

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。
例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667
受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

ソウェルクラブ

(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

新規会員 募集中!

会員数 約270,000人/

職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア、ダイワロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク ●国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈 ●接遇講習会
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- メンタルヘルス講習会
- OJTスキルアップ講習会
- Disneyアカデミー
- コンプライアンス講習
- e-ラーニング
- 〔Excel、Word、PowerPoint、コンプライアンス、メンタルヘルス〕

職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

国内外20万件以上の施設やサービスを会員価格で利用できる

ソウェルクラブ“クラブオフ”

加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業(※)を営業者
- ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業(※)
- ・加入対象者…上記事業に従事する役員全員(非常勤職員含む)

※対象事業の詳細についてはお問い合わせください。

掛金

- ・第1種会員(常勤職員向け) …… 毎年度1万円
- ・第2種会員(非常勤職員向け) … 毎年度5千円

※非常勤職員が第1種に入会することもできます。

※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

加入申し込み、お問い合わせは、**フリーダイヤル** **TEL 0120-292-711**
FAX 0120-292-722
<https://www.sowel.or.jp/>
社会福祉法人 福利厚生センター
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1
NBF小川町ビルディング

経営相談 をご活用ください

相談は無料です

毎月1回(定例日)、専門の相談員が社会福祉法人や社会福祉施設からの経営相談に応じています。また、緊急な場合は、電話やメールでの迅速な対応も可能です。ぜひご活用ください。

来所相談日 (※予約が必要です)

- 社会保険労務士 第1月曜日 午後1時30分～
- 公認会計士 第2火曜日 午後1時～
- 弁護士 第3火曜日 午後1時30分～

お問い合わせ | 社会福祉法人経営相談室
TEL. 096-324-5465 (直通)
FAX. 096-355-5440

地域福祉権利擁護事業で、暮らしの安心をお手伝い

ご利用できる方

認知症・知的障がい・精神障がいなどにより、判断能力が低下しておられる方で、日常生活に不安のある方などです。

サービスの主な内容

- 福祉サービスが安心して利用できるようにお手伝いします
- 毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。
- 大切な通帳・印かん・証書などを、安全な場所でお預かりします。

利用料

1回1時間あたり900円程度です。(お住まいの市町村によって異なります)

お問い合わせ | 地域福祉権利擁護センター
TEL. 096-324-5474 (直通)
※またはお住まいの市町村社会福祉協議会まで

福祉専門の無料職業紹介所

福祉の仕事サポートします!

知りたい
働きたい
体験したい

介護 や 保育 など

お問い合わせ | 熊本県福祉人材・研修センター
(熊本県総合福祉センター4階)
TEL. 096-322-8077 (直通)
FAX. 096-324-5464

福祉サービスに関する苦情など お気軽にご相談ください。

福祉サービスに関する苦情や相談は、事業所内にある苦情受付窓口で受け付けています。しかし、解決できなかったり、直接、言いにくい場合は、「熊本県運営適正化委員会」へお気軽にご相談ください。利用者本人や家族、代理の方でも相談できます。

相談は無料です・秘密は守ります 午前9時～午後5時まで
(土・日・祝日は除く)

お問い合わせ | 熊本県運営適正化委員会
TEL: 096-324-5471 (専用)
FAX: 096-355-5440